平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	11	ー	45

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	社会体育施設委託業務事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	横田和幸		氏名	櫻井輝久
事業の概要	本町の生涯スポーツの推進に寄与すべく主要な体育施設の適正な管理を民間業者等に委託するものである。			全体計画（平成 20 年度～ 24 年度）		
				事業費	国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	39,770 千円
					事業費計	39,770 千円

実施方法	□	直営	■	民間委託	□	その他（　　）	
第５期総合計画（前期）	■	登載事業	□	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	5	施設・備品の有効活用				
	事務事業の種類	■	自治事務	□	法定受託事務		
	その他計画・根拠等						

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	8,707 千円	9,753 千円	6,536 千円	6,544 千円	8,680 千円
	合計	8,707 千円	9,753 千円	6,536 千円	6,544 千円	8,680 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	施設を良好な状態に維持し管理を行う。	年間利用者数		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	利用者数の増加と快適な施設利用及び経費の削減。	① 各スポーツ施設の年間利用者数 ①風の丘スキー場（2,649） ②宮の森パークゴルフ場 ③農村広場（1,750） ④ブルームボールコート ※②・④不詳	目標年度	平成23年度
			目標値	10,000 人
			実績値	4,399 人
			達成度	44.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	本町のスポーツ活動の活性化と健康増進を図る。職員の労務管理の軽減。体育施設運営費のコスト削減。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
各体育施設の管理委託	指名競争入札により業者を決定し、各維持管理業者に委託した。（風の丘スキー場、宮の森パークゴルフ場、農村広場、ブルームボールコート）

3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	各施設において不特定多数の利用があり、受付・備品貸出等の業務が発生するため、管理人の常駐は必要である。また、町民の健康維持増進・交流の場を有効に維持管理するため、本事業は必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	施設の安全管理には充分配慮しており、良好な状態を保持していることから、利用者から高く評価されている。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	教育施設管理を一本化することにより、コスト削減につながっている。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	町民を利用対象とする施設及び備品の維持管理業務であり、公平性は保たれている。

4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
利用者の利便性が向上し、学校教育活動の支援ができた。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
町民ニーズに沿った維持管理が可能であることから、施設管理は継続して行っていく必要がある。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）